



ハスを手渡す細谷地壽吉（左）と農工商業協議所会頭（右）

中尊寺ハスの株分け

復興の花 励みに

農工商業協議所連合会などで構成される復興の華「中尊寺ハス」を広める会（元持勝利会長）は、5月28日、市に中尊寺ハス3株を株分けしました。

山内隆文市長はハスを受け取ると、「震災の記憶の風化を防ぎ、被災地の励みにもなります」と感謝しました。

同ハスは5月30日に市民の森の「西の望池」に移植。開花が待ち望まれます。

藤原泰衡の首桶から発見され、800年の時を越えて開花したハスは、東日本大震災の犠牲者への鎮魂と復興の願いが込められ、被災地などへの株分けが進められています。

産業再生特区 説明会を開催

税特例で雇用促進

産業再生特区内（産業集積区域）で新規投資や被災者雇用などを行う場合、要件を満たせば税制上の特例などが受けられます。説明会へご参加ください。

- ▶日時…7月12日(金) 13時30分～15時
- ▶場所…市役所3階・大会議室
- ▶申込方法…住所、事業所名、連絡担当者名、連絡先、参加人数を明記のうえ、FAXまたはE-mailで7月10日(木)までに申し込んでください。
- ▶その他…区域が拡大され、新たに繊維関連産業が対象業種に追加されました

復興推進課
☎54-8005 FAX 52-3653
mail:fukkou@city.kuji.iwate.jp

情報公開制度と個人情報の取扱状況

総務課 ☎ 52-2112



市の文書など公開

情報公開制度は、公正で開かれた市政を進めるため、市が保有する文書や図面、写真などを皆さんの請求に応じて公開する制度です。制度の内容や、情報の開示請求方法などはお問い合わせください。昨年度、開示請求された件数などは次のとおりです。

▼情報の開示請求件数（実施機関別）：計14件

①市長：10件 ②教育委員会：2件 ③農業委員会：2件

情報の開示請求に対する決定的状況：計14件

- ①開示：6件 ②部分開示：3件 ③不存在：5件

情報は適正に管理

市は、個人情報保護条例を制定し、個人情報の収集内容や、請求によって開示する内容などに基準を設け、皆さんの個人情報の適正な管理・保護に努めています。昨年度の事務の取扱状況などは次のとおりです。

▼個人情報を取り扱っている事務の件数（実施機関別）：計378件

▼個人情報の開示請求件数：8件（口頭開示請求7件）

▼個人情報の開示請求に対する決定的状況：8件（すべて開示）

年金の免除申請は7月から

市民課年金グループ ☎ 52-2118

免除期間や対象

7月1日から、平成25年度の国民年金保険料の免除申請を市民課（市役所1階）で受け付けています。保険料の納付が困難な人は、免除制度をご利用ください。

免除対象期間

本年7月～平成26年6月分
※学生の免除期間は本年4月～平成26年3月分

免除対象者

次のいずれかに該当する人
①前年の所得が一定以下の人
：本人、配偶者、世帯主の所得で判定します
②失業などの理由により保険料を納めることが困難な人
：本人の所得を0円とし、配偶者、世帯主の所得によって判定します

24年度分は7月中

平成24年度の保険料の免除（昨年7月分～本年6月分）は、7月31日(木)まで申請することができます。

また、免除された保険料は、10年以内であれば追納（後払い）できます。お手続きは、市民課年金グループまで問い合わせてください。



小袖小学校で「JFA・キリンスマイルフィールド」

サッカーで笑顔のハイタッチ



永島さんと一緒にみんなで記念写真

東日本大震災の復興支援活動として、サッカーを通じて子どもたちに笑顔をお届けする「JFA・キリンスマイルフィールド」（キリングループ主催）。6月7日、小袖小学校（佐々木登和子校長・児童31人）で行われた同イベントのメインコーチとして、サッカー元日本代表の永島昭浩さんが参加し、夢のサッカー教室を行いました。

永島さんと記念撮影を行った後、ボールを使った遊びやリレー、ミニゲームなどで交流。児童らが大人のゴールキーパーに挑むPK勝負では、永島さんが驚くほど鋭いシュートで会場を沸かせた小学生チームが勝利しました。



華麗なボールコントロールを披露する永島さん

交流後、キリングループから小袖小学校に、サッカーゴールやボール、ピンスなどが贈られると、児童らは歓声をあげて大喜びしました。

最後に永島さんは「これからも、勉強も運動も頑張ってください。応援しています！」とエール。児童全員と笑顔でハイタッチしました。

大久保拓海くん（2年）は「試合ではゴールも決めたし、すごい人と遊べて楽しかったです」と満足げでした。

岩手県、宮城県、福島県の小学校を対象に行われている同イベントは、これまでに433校を訪問。市内では7校・807人の児童に笑顔が届けられています。

市社会福祉事業団が10周年

高齢者福祉の向上に努力



感謝状を受け取る玲扇州会の若柳一玲さん

市が設置する福祉施設の管理運営を行う市社会福祉事業団（山内隆文理事長）が、今年の3月25日で創立10周年を迎えました。

6月12日に市内催事場で行われた記念式典には関係者など約90人が出席し、10年の節目を祝いました。

式典で山内理事長は「創立以来、地域の高齢者福祉の向上に努めてきました。これからも高齢者福祉の拠点として、利用者にも満足いただけるサービスの提供に努めます」とあいさつ。また、高橋信県北広域振興局長は「県では4人が1人が高齢者という状況です。これからは介護予防の推進や介護サービスの充実など多様なニーズにこたえられる地域づくりが必要です」と話し、同事業団の事業展開の重要性を強調しました。

式典では、同事業団が管理運営する各事業所に訪問活動などを行ってきた8団体に感謝状と記念品を贈呈。受賞者に会場からは温かい拍手が送られました。

式典の最後は参加者全員で万歳を三唱し、高齢者福祉の向上を誓いました。

感謝状受賞者は次のとおり。（敬称略）

- ▼申請に必要なもの
- ①年金手帳
- ②印鑑（本人の場合は不要）
- ③学生証の写しまたは在学証明書（学生の場合）
- ◎雇用保険受給資格者証または離職票など（失業特例の申請の場合）



感謝状の贈呈後、山内理事長を囲み記念撮影